



榴ヶ岡

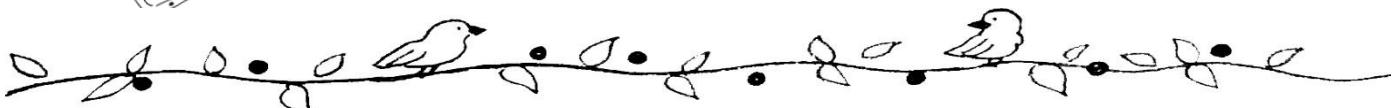
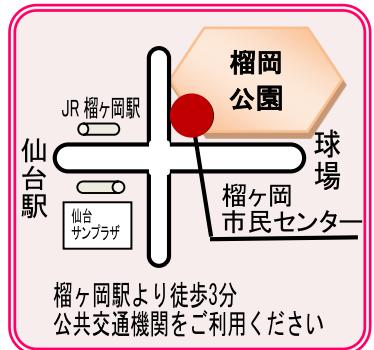
(公財) 仙台ひと・まち交流財団

令和2年6月1日発行

市民センターだより 6月号

〒983-0842 仙台市宮城野区五輪 1-3-1
TEL 299-5666 FAX 299-5690

仙台市榴ヶ岡市民センターで検索または
<http://www.sendai-shimincenter.jp/miyagino/tsutsujiagaoka/index.html>



市民センターの利用再開について

仙台市の新型コロナウィルス感染症ガイドラインが改訂されたことにともない
市民センターは 6月2日(火)より、一部の施設を除き、利用を再開いたします。

【ご利用にあたってのお願い】

- 手洗いの徹底やこまめな換気、3密を避けるなど感染予防対策をとりながらご利用ください。
- 各部屋の定員の半数程度でのご利用をお願いいたします。**
- 体育館・ホールについては50名を超える人数での利用はお控えください。
- 感染予防対策が十分に取れないと判断された場合、利用のお取消をしていただいて構いません。
この場合、使用料は全額返金いたします。
- 多数の方が予約なしで利用できる施設の一部スペース等は、当面利用休止とします。
※ご利用、お申込みに関して詳しくは市民センターまでお問い合わせください。
- ご不便をお掛けいたしますが、感染拡大防止への取り組みに引き続きご理解・ご協力をお願いいたします。



地域のみなさまへ

榴岡地区町内会連合会 及川 勇 会長より

3.11東日本大震災時は榴岡小学校で、14日間避難所を開設いたしました。今回のコロナに対応した避難所運営を早急に検討しなければならないと考えています。

「神は乗り越えられる試練しか与えない」といった名めりふの「JIN=仁」の再放送がありました。(江戸幕末のころニコレラを一部取り上げています。

前から気になっていた言葉ですが、今回の新型コロナウィルスの件で必ず乗り越えられる、乗り越えろ、という示唆のように思えます。一人ではなく地域としてお互いに協力し乗り越えるという気概を持つことが肝要であると思います。



6月の休館日

1日(月)、8日(月)、15日(月)、22日(月)、29日(月)

※体育館の個人使用につきましては、
市民センターまでお問い合わせください。

※市民センターでいただいた個人情報は、目的以外には使用いたしません。用紙はリサイクルできます。

地域のお宝ご紹介します！

※「榴ヶ岡ココいいね！」は令和元年度 キラキラ社会人企画講座で作製した冊子のタイトルです

東口ガイドボランティア宮城野さんばみち
事務局長 久保 一さん

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、3月中旬頃から活動を見合わせています。普通に取り組めていたことができないというもどかしさを感じています。

「ステイホーム」をメンバーそれぞれの充電期間と捉え、これまでのまち歩き資料の整理や新しいまち歩きルート設定に向けての準備等をしています。収束後は、東口地域のさらなる魅力を発信しながら、精力的に活動をしていくつもりです。また、懸案事項となっている団体のホームページ開設の実現にも力を入れていきたいと考えています。

一日も早く日常が戻り、皆様方に再びまち歩きのご案内ができる日を楽しみに待ちながら今は辛抱の時だと思っています。



キラキラ社会人企画講座のまち歩きでご案内いただきました。毎月 28 日に行われているまち歩きの再開が待ち遠しいですね。



特撮が大好き！

キラキラ社会人企画員
ふくちゃん



今は、仮面ライダーとかウルトラマンとかをたくさん観ています。過去に例を見ないほどの充実っぷりです。キラキラ社会人企画会やほぼ榴ヶ岡ココいいね！に参加して感じた榴岡地域の魅力はやっぱり充実の社寺です！あと、お店におもしろい人たちがいるんですよ。だからコロナが落ち着いたら、まずお店に行きます。おもしろい話をたくさんして、買って食べて飲みます！ショッカーに世界征服されたわけじゃないので、なんとか乗り越えられる気がします。



駅東交流センター敷地にあります。事務局長の庄子哲夫さんにお話を伺いました。お賽銭を入れると音が鳴り響き、金種によって(?!音が違うそうです。庄子さんのお話から大切に守られていることが伝わってきました。

車延命地蔵尊堂は、永福山「東衆院」（寛永2年・1626年開山）の境内に「車延命地蔵」として安置されていました。このお地蔵さんは地域の方々にとても慕われていました。仙台城下の大火、個人所有など幾多の変遷を経て、昭和63年より着手された、仙台駅第二土地区画整理事業により、一時的に岩手県陸前高田市の「観音寺」に仮遷宮しました。正遷宮として新たな「車地蔵尊」の建立が待たれていましたが、平成27年(2015年)5月にこの地に落慶されたものです。（東口ガイドボランティア「宮城野さんばみち」作製「仙台駅東口界隈 ガイド資料」より）

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、世の中の状況やみなさまの生活も大きく変化していることだと思います。市民センターも臨時休館となり、地域のみなさまと直接お会いすることが出来ない日々が続いております。隣接する榴岡公園では次々と見事な花を咲かせた桜の季節も過ぎ、今はツツジが咲き始め、季節は確実に先に進んでいることを感じさせてくれます。今月号では市民センターと深い関わりがある団体や市民の方々のご協力により、紙面をとおして市民センターと地域のみなさまが「つながる」メッセージをお届けいたしました。これからも不定期に掲載していくので、ぜひご覧ください♪